

# 平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕 (連結)

平成28年5月11日

上場会社名 株式会社アドバンスクリエイト 上場取引所 東

コード番号 8798 URL https://www.advancecreate.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 濱田 佳治

(氏名) 村上 浩一 TEL 06-6204-1193 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 常務執行役員

配当支払開始予定日 平成28年6月6日 四半期報告書提出予定日 平成28年5月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第2四半期の連結業績(平成27年10月1日~平成28年3月31日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	売上高 営業利益 経常		営業利益		益	親会社株主に 四半期純	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	3, 796	0.0	642	△14.6	627	△17. 2	376	△14.1
27年9月期第2四半期	3, 794	3. 5	752	40. 3	757	44. 7	438	49. 6

(注)包括利益 28年9月期第2四半期

399百万円 (△5.6%)

27年9月期第2四半期

422百万円 (43.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円銭	円 銭
28年9月期第2四半期	34. 83	_
27年9月期第2四半期	40. 42	40. 11

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第2四半期	7, 055	4, 613	65. 3
27年9月期	7, 361	4, 810	65. 3

(参考) 自己資本 28年9月期第2四半期 4,608百万円 27年9月期 4,806百万円

## 2. 配当の状況

		年間配当金					
	第1四半期末	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合計					
	円 銭	円銭	円銭	円銭	円 銭		
27年9月期	_	20. 00	_	22. 50	42. 50		
28年9月期	_	22. 50					
28年9月期(予想)			ı	22. 50	45. 00		

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日~平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業和	引益	経常和	引益	親会社株式 する当期		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7, 820	7. 5	1, 330	15. 3	1, 300	13. 7	750	16. 4	69. 71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

### ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
① ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

### (4) 発行済株式数 (普通株式)

1	期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年9月期2Q	10, 999, 100株	27年9月期	10, 999, 100株
2	期末自己株式数	28年9月期2Q	280, 257株	27年9月期	19,057株
3	期中平均株式数(四半期累計)	28年9月期2Q	10, 797, 553株	27年9月期2Q	10, 836, 169株

期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式を含めております。

### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了しておりません。

### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 株式会社アドバンスクリエイト(8798)平成28年9月期第2四半期決算短信

## ○添付資料の目次

1 .	当四	日半期決算に関する定性的情報	2
	(1)	経営成績に関する説明	2
	(2)	財政状態に関する説明	2
	(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2	サマ	マリー情報(注記事項)に関する事項	3
	(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
	(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
	(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3.	四半	半期連結財務諸表	4
	(1)	四半期連結貸借対照表	4
	(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
		四半期連結損益計算書	
		第2四半期連結累計期間	6
		四半期連結包括利益計算書	
		第2四半期連結累計期間	7
	(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
	(4)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
		(継続企業の前提に関する注記)	9
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
		(セグメント情報等)	g

#### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1)経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年10月1日~平成28年3月31日)におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢の改善等から緩やかな回復基調にありましたが、一方で中国や新興国経済の減速や世界的な地政学リスク増大により、景気動向に重要な影響を与える懸念が強まっており、また個人消費動向も引き続き足踏みの様相が見られております。

保険業界においては、日銀のマイナス金利導入を受け、貯蓄性の高い一時払い終身保険や個人年金等の一部商品が販売停止になる等の動きが出ております。また、改正保険業法の施行を目前に控え、保険募集管理態勢の一層の強化が求められております。

このような状況の下、当社グループは、保険流通改革のパイオニア企業として国内最大級の保険選びサイト「保険市場(ほけんいちば)」を主軸とする「Web to Call to Real」の一気通貫型サービスにより、お客様のあらゆる保険ニーズに対応できるプラットホーム戦略を推進してまいりました。

国内最大級の保険選びサイト「保険市場(ほけんいちば)」は、保険情報のディストリビューターとしてさらなるお客様のユーザビリティ向上と、保険会社各社との連携強化のための進化を追求しております。特に、スマートフォン・タブレットを含めたあらゆるデバイスを通じた保険の比較・申込サービスの拡充を一層推進し、マーケット動向に機敏に対応しながら、保険に対するニーズに着実にアプローチしております。当社独自開発の顧客管理システムを活用したCRM戦略の一環として協業提携先とのネットワーク化を進め、万全の顧客管理と保全管理体制を構築しながら、高度なお客様サービスを実現しております。加えて、SNSやキュレーションサイトを活用した効果的なWebマーケティングにより、投資効率と営業生産性のさらなる向上を図っております。

さらに、ガバナンス体制およびコンプライアンス体制の充実や情報セキュリティ体制の強化を継続し、改正保険業法に先んじた保険募集管理態勢の構築に向けて全社的に取り組み、管理体制面においても積極的に経営資源を投下しております。

これらの取り組みの中、マイナス金利政策の影響による貯蓄性保険商品の販売停止や保険商品の見直し、保険業法改正に向けた人的資源の投入等、保険代理店事業としては厳しい営業環境にあり、売上高において当初予想数値を下回る結果となりました。一方、広告代理店事業においては、保険選びサイト「保険市場(ほけんいちば)」の価値向上に伴い広告メディア関連の売上が好調に推移致しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,796百万円(前年同期比0.0%増)、営業利益は642百万円 (前年同期比14.6%減)、経常利益は627百万円(前年同期比17.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は 376百万円(前年同期比14.1%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

保険代理店事業におきましては、当第2四半期連結累計期間の営業収益は3,376百万円(前年同期比3.0%減)、営業利益は480百万円(前年同期比28.7%減)となりました。

広告代理店事業におきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は430百万円(前年同期比128.5%増)、営業利益は103百万円(前年同期比154.5%増)となりました。

再保険事業におきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は311百万円(前年同期比17.7%増)、営業利益は57百万円(前年同期比53.2%増)となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ総資産は305百万円減少し7,055百万円、負債は108百万円減少し2,442百万円、純資産は197百万円減少し4,613百万円となりました。

資産の減少の主な要因は、現金及び預金の減少282百万円であります。負債の減少の主な要因は、社債の減少100百万円によるものであります。また、純資産の減少の主な要因は、株式給付信託導入等に伴う自己株式の増加349百万円によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ282百万円減少し、1,382百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間においては、税金等調整前四半期純利益594百万円(前年同期は716百万円)、売上債権の減少額720百万円(前年同期は530百万円の増加)等により、営業活動の結果獲得した資金は681百万円(前年同期は77百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、無形固定資産の取得による支出142百万円 (前年同期は150百万円の支出) 等があり、177百万円の支出(前年同期は240百万円の支出) となりました。 (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、自己株式の取得による支出349百万円(前年同期はなし)、配当金の支払額246百万円(前年同期は209百万円の支出)等により、786百万円の支出(前年同期は253百万円の収入)となりました。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月9日付の「平成28年9月期第2四半期業績予想及び通期業績予想の 修正に関するお知らせ」にて公表しました連結業績予想から変更はありません。

#### 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 (会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

### (会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、移転・退店等の新たな情報の 入手に伴い、支店の退去時に必要とされる原状回復費用に関して見積りの変更を行いました。見積りの変更による 増加額を変更前の資産除去債務残高に89,581千円加算しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 667, 529	1, 385, 294
受取手形及び売掛金	1, 494, 704	775, 59
未収入金	545, 843	887, 33
繰延税金資産	84, 640	69, 27
その他	384, 766	478, 74
流動資産合計	4, 177, 485	3, 596, 24
固定資産		
有形固定資産	572, 597	679, 70
無形固定資産		
のれん	13, 369	_
ソフトウエア	201, 472	170, 15
その他	372, 527	554, 25
無形固定資産合計	587, 370	724, 41
投資その他の資産	<u> </u>	,
投資有価証券	329, 361	360, 99
差入保証金	582, 716	593, 87
保険積立金	868, 809	868, 80
繰延税金資産	140, 249	134, 46
その他	100, 584	96, 42
投資その他の資産合計	2, 021, 721	2, 054, 56
固定資産合計	3, 181, 689	3, 458, 68
繰延資産	2,003	97
資産合計	7, 361, 177	7, 055, 90
負債の部	1, 501, 111	1, 000, 30
流動負債		
1年内償還予定の社債	200,000	200, 00
未払法人税等	214, 982	211, 99
賞与引当金	131, 806	129, 75
代理店手数料戻入引当金	44, 759	3, 16
店舗閉鎖損失引当金	——————————————————————————————————————	7, 89
資産除去債務	4, 469	-
その他	1, 172, 839	1, 103, 51
流動負債合計	1, 768, 856	1, 656, 33
固定負債	1, 100, 000	1, 000, 30
社債	100,000	
退職給付に係る負債	212, 868	218, 45
遅城和りに保る負債 資産除去債務	73, 949	
その他	394, 640	181, 17 386, 18
固定負債合計		386, 18
	781, 457	785, 82
負債合計	2, 550, 314	2, 442, 15

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 915, 314	2, 915, 314
資本剰余金	352, 328	352, 328
利益剰余金	1, 473, 829	1, 602, 885
自己株式	△14, 493	∆363, 858
株主資本合計	4, 726, 978	4, 506, 670
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79, 085	102, 281
その他の包括利益累計額合計	79, 085	102, 281
新株予約権	4,800	4, 800
純資産合計	4, 810, 863	4, 613, 751
負債純資産合計	7, 361, 177	7, 055, 906

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

		(単位・1円/
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)
売上高	3, 794, 771	3, 796, 417
売上原価	716, 424	751, 812
売上総利益	3, 078, 346	3, 044, 604
販売費及び一般管理費	2, 325, 657	2, 402, 172
営業利益	752, 689	642, 431
営業外収益		
受取利息及び配当金	2, 561	4, 188
為替差益	15, 850	_
未払配当金除斥益	517	551
その他	717	432
営業外収益合計	19,646	5, 171
営業外費用		
支払利息	8, 734	4, 808
支払保証料	2, 462	2, 263
支払手数料	1, 756	12, 093
その他	1,760	1, 310
営業外費用合計	14,713	20, 475
経常利益	757, 622	627, 128
特別損失		
訴訟損失引当金繰入額	41, 412	_
店舗閉鎖損失	<u> </u>	32, 143
特別損失合計	41, 412	32, 143
税金等調整前四半期純利益	716, 209	594, 985
法人税、住民税及び事業税	284, 839	205, 194
法人税等調整額	△6, 698	13, 682
法人税等合計	278, 141	218, 877
四半期純利益	438, 068	376, 107
親会社株主に帰属する四半期純利益	438, 068	376, 107

## 株式会社アドバンスクリエイト(8798)平成28年9月期第2四半期決算短信

(四半期連結包括利益計算書) (第2四半期連結累計期間)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)
四半期純利益	438, 068	376, 107
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15, 239	23, 196
その他の包括利益合計	△15, 239	23, 196
四半期包括利益	422, 829	399, 303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	422, 829	399, 303
非支配株主に係る四半期包括利益	_	_

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

		(十四:114)
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	716, 209	594, 985
減価償却費	180, 163	145, 294
店舗閉鎖損失	_	32, 143
繰延資産償却額	1, 760	1,031
のれん償却額	13, 369	13, 369
代理店手数料戻入引当金の増減額(△は減少)	6, 257	△41, 589
賞与引当金の増減額(△は減少)	$\triangle 14,072$	△2,052
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8, 933	5, 591
受取利息及び受取配当金	$\triangle 2,561$	△4, 188
支払利息	8, 734	4, 808
売上債権の増減額(△は増加)	△530, 442	720, 942
その他	△80, 311	$\triangle 475, 491$
小計	308, 040	994, 843
利息及び配当金の受取額	2, 561	4, 188
利息の支払額	$\triangle 9,085$	△4, 809
法人税等の支払額	$\triangle 223,580$	△216, 115
訴訟関連損失の支払額	· <del>-</del>	△97, 000
営業活動によるキャッシュ・フロー	77, 935	681, 107
投資活動によるキャッシュ・フロー	,	,
定期預金の預入による支出	$\triangle 0$	$\triangle 0$
有形固定資産の取得による支出	△24, 231	△2, 444
無形固定資産の取得による支出	$\triangle 150, 219$	$\triangle 142,043$
投資有価証券の取得による支出	$\triangle 65,672$	△961
貸付金の回収による収入	447	_
差入保証金の差入による支出	△6, 168	△17, 946
差入保証金の回収による収入	11, 224	1, 070
その他	$\triangle 5,694$	△14, 736
投資活動によるキャッシュ・フロー	△240, 315	△177, 063
財務活動によるキャッシュ・フロー		•
短期借入れによる収入	1, 250, 000	_
短期借入金の返済による支出	△850, 000	_
社債の償還による支出	$\triangle 100,000$	△100,000
自己株式の取得による支出		△349, 364
自己株式の処分による収入	254, 000	
配当金の支払額	△209, 377	$\triangle 246,767$
その他	△91, 421	△89, 868
財務活動によるキャッシュ・フロー	253, 200	△786, 000
現金及び現金同等物に係る換算差額	△787	<u>∠.188, 888</u>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	90, 034	△282, 235
現金及び現金同等物の期首残高	514, 457	1, 664, 506
現金及び現金同等物の四半期末残高		
枕並及い枕並内寺物の四干期木残局	604, 491	1, 382, 271

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

### (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、「株式給付信託 (J-ESOP)」制度の導入により、信託が当社株式を取得したことおよび自己株式の取得に伴い、自己株式が349,364千円増加しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末において自己株式は363,858千円となっております。

### (セグメント情報等)

### 【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益計算書
	保険代理店 事業	広告代理店 事業	再保険事業		(注) 1	計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	3, 349, 845	180, 153	264, 773	3, 794, 771	_	3, 794, 771
セグメント間の内部売上高又 は振替高	133, 063	8, 204	-	141, 268	△141, 268	_
計	3, 482, 909	188, 357	264, 773	3, 936, 040	△141, 268	3, 794, 771
セグメント利益	673, 152	40, 597	37, 739	751, 489	1, 200	752, 689

- (注) 1. セグメント利益の調整額1,200千円はセグメント間取引消去によるものです。
  - 2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。
- Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益計算書
	保険代理店 事業	広告代理店 事業	再保険事業		(注) 1	計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	3, 058, 247	426, 408	311, 760	3, 796, 417	_	3, 796, 417
セグメント間の内部売上高又 は振替高	318, 530	3, 999	_	322, 529	△322, 529	_
111-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	3, 376, 778	430, 408	311, 760	4, 118, 946	△322, 529	3, 796, 417
セグメント利益	480, 087	103, 312	57, 832	641, 231	1, 200	642, 431

- (注) 1. セグメント利益の調整額1,200千円はセグメント間取引消去によるものです。
  - 2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。